

【技術の名称】 Dolacon Beam工法 －異種強度で打分けたRC梁－	性能証明番号：GBRC 性能証明 第 25-21 号 性能証明発効日：2025 年 8 月 26 日
	【取得者】 前田建設工業株式会社

【技術の概要】

本技術は、鉄筋コンクリート梁をハーフプレキャスト部材とする場合に、現場で打設する梁部分のコンクリートをプレキャスト部分よりも低強度とした梁を施工する工法である。異なるコンクリート強度で一体となったこの梁の構造性能は等価コンクリート強度を用いて評価できるものとしている。また、この梁の非ヒンジ領域に開孔を設ける場合は既製開孔補強筋(ダイヤレン NS)により補強が可能であり、等価コンクリート強度を用いて既評定の設計施工法に準ずることができる。

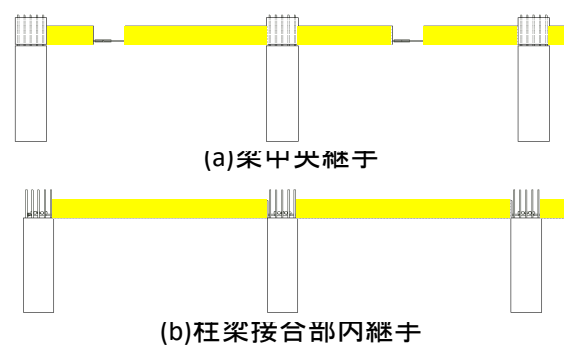
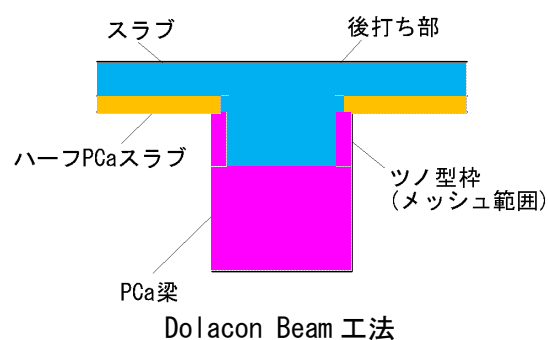
【技術開発の趣旨】

本技術は、ハーフプレキャスト梁の現場打設部分のコンクリートを床スラブと同等の低強度のコンクリートとすることができ、従来行ってきたコンクリート打ち分けのための作業が不必要となり施工効率を向上させることができる。また梁に設ける開孔については、既評定の開口補強金物を使用でき施工の簡素化が期待できる。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「Dolacon Beam 工法 設計・施工指針」に従って設計・施工された鉄筋コンクリート造梁は、長期荷重時に建物使用に支障がなく、短期荷重時に修復性を損なうひび割れを起こさず、同指針で定める終局耐力および変形性能を有する。



本工法が想定する PCa 架構

■技術の適用範囲

○コンクリート

【種類】 普通コンクリート

【設計基準強度 F_c 】

スラブ、現場後打ち部：30～48N/mm²

PCa、現場先行打設部：30～60N/mm²

○鉄筋

梁主筋：SD390、SD490、SD590(大臣認定品)

せん断補強筋、孔周囲補強筋：

SD295、SD345、SD390、SD490、SD785(大臣認定品)

既製開口補強筋：SD785 (ダイヤレン NS)

【本技術の問合せ先】

前田建設工業株式会社 I C I テクノロジーセンター 担当者：茂木 順一 E-mail：mogi.j@jcity.maeda.co.jp
〒302-0021 茨城県取手市寺田 5270 I C I 総合センター TEL：0297-85-6171 FAX：0297-85-6173